

【柏市・オリエンタルコンサルタンツ 交通安全プロジェクトで成果  
ドライブレコーダー新たに防犯対策へ活用】

交通安全プロジェクトで成果

柏市オリエンタルコンサルタンツ

ドライブレコーダー新たに防犯対策へ活用

オリエンタルコンサルタンツは、千葉県柏市と共同で交通安全に関する実証実験「柏市交通安全プロジェクト」(14年11月～16年3月)を実施し、ドライブレコーダー、管理者への安全教育(車録)による事故やヒヤリハットの減少、ビッグデータの活用による道路施設の改良(Dr.ワトソン)、ヒ

る」と話した。

次いで、登壇した金氏は「EPC(設計・調達・建設)コントラクターのコンセンション事業請負のための要求事項と韓国の動き」をテーマに講演し、「意思決定段階で定量的にリスクを図ることが重要」と述べ、「ロードコスト・ハイパフォーマンス、工期厳守、利益確保を考慮しなければコンセンションは成功しない」と語った。

ヤリハット箇所の市民との共有(同)といった成果があった。10月からは、新たな取り組みとして、ドライブレコーダーのデータを活用した交通安全の取り組みに加えて、防犯対策に着目した「柏市新交通安全・防犯対策プロジェクト」を実施する。

交通事故の発生要因は、主に「ドライブレコーダー」(人)「インフラ施設(道路環境)」(車)に大別され、このうち「ドライブレコーダー」(人)への働きかけが、車録(シャロック)による「ドライブレコーダー」に対する安全教育(道路環境)への働きかけの「Dr.ワトソン」による「インフラ施設に対する改良提案」となっている。

主な成果で、車録(シャロック)による安全教育では、運転診断レポートを活用したドライブレコーダーへの個別指導、ヒヤリ

ハットデータを活用したドライブレコーダーや管理者への安全運転教育を実施し、ドライブレコーダーを設置した公用車(ドライブレコーダー)に過失のない事故、後退時、運転時以外の事故を除く)の事故を36%削減し、ドライブレコーダーが約3分の1に減少した。

また、ビッグデータの活用による道路施設の改良(Dr.ワトソン)では、公用車に設置したドライブレコーダーの急減速(ヒヤリハット)データを活用して、インフラの改善策を提案したほか、生活道路のインフラ改善策は、植栽の剪定やカーブミラーの設置等の小規模な改良から道路改良などを提案し、ヒヤリ多発か所について、植栽の剪定の対策を実施して、急減速回数が約7割減少した。

新プロジェクトで使用するドライブレコーダーは、急減速時のデータに加えて、常時、走行動画が記録できることから、動く防犯カメラと捉えることもできる。プロジェクトでは、このドライブレ

コーダーを使用し、これまでのプロジェクトと同様に職員に対する交通安全教育、収集した急減速時のデータ分析による

インフラ改善策の提案を行うとともに、新たに防犯対策への活用を行う。地域住民からの不審者情報の通報や事件発生時の

警察からの情報提供依頼に対応し、ドライブレコーダーが安全・安心なまちづくりへ貢献することが期待されている。